

# 梵珠ガイド会通信

2022年06月01日号

自然ふれあい  
ボランティアガイド会

## ■ 中世のロマンに心ときめく！！ ～油川城跡自然観察会～



昨年に続きガイド会自主研修として、5月22日、中世の城・油川城跡自然観察会を開催しました。当会員以外に一般参加者等も含め、25名の参加者があり、「くらしと歴史」新・発見隊の村田さんなど2人に現地案内して頂きました。

油川城は青森市西田沢字浜田に位置し、丘陵地帯の端で、三方が湿地（現在は水田）で西側が山側となり、東西200m、南北350mの平地に立てられた城郭。近くを北海道新幹線が通る。油川城の築城時期は不明ですが、城の性格として軍事性が低く居館・屋敷の趣で、町・港から離れていることから「代官所」で「蝦夷交易のための儀礼的空間（交易の場）」だったと考えられる。

城主は奥瀬善九郎で、天正13年（1585年）に為信に攻められその後、廃城となる。この7年前には浪岡城（城主：北畠）が為信に攻められた。そこを拠点に為信が勢力を拡大していった。

現在の城郭は、東地区が畑地となって西地区は杉木立となっていて、周囲は土塁状遺構が確認できる。油川は、かつて大濱といわれ、北前船も寄港し港は賑わい、松前街道終点地でここから奥州街道羽州街道へと合流する、人や荷物の往来が多いところであった。参加者からは、「植物だけでなく、地元の中世の歴史を垣間見ることができて良かった」と感想を述べていました。





◆シナイモツゴ:コイ科の淡水魚 体長8cm



◆シナイモツゴが棲む又八沼

当日の午後、公園近くの青森四国八十八ヶ所巡り（一部）と、シナイモツゴが棲む又八沼を巡る。シナイモツゴはレッドデータブックの中で「絶滅危惧1B類」にランク付けされ全国的に生息地は減少してきている。以前は、秋田・岩手県が北限とされていましたが、平成5年に又八沼で生息が確認され、これまで又八沼を含め市内8ヶ所の沼でその生息が確認されている。又八沼は、現在も沼の下にある水田の用水として利用されています。

## ■野生動物の観察手法 ～県自然保護課主催ガイド研修会～

5月28日（土）に、県自然保護課主催のガイド研修会が自然ふれあいセンターで開催され、今年ガイドとして委嘱された16人中、14人が出席。講師は、青森自然誌研究会会員の笹森耕二氏で、「野生動物の観察について」の座学と現地研修がありました。センターからオシドリ池まで歩く途中、クロサンショウウオやトウホクサンショウウオの卵塊を水たまりで見つけ、モリアオガエルの卵塊も木の枝に産み付けられていました。ヒョウタン池向かいの沢岸からはタゴガエルの鳴き声が聞こえていました。グツ、グツというぐもった地味な鳴声で溪流沿いのわき水のある岩の隙間や土の中にいます。

両生類の観察は卵の期間や繁殖期に観察しやすい。



◆オシドリ池でカエルの観察



クロサンショウウオの卵塊



トウホクサンショウウオの卵塊

## ■ガイド会活動日誌

| 月 日 | 内 容            | 担当ガイド会員 |
|-----|----------------|---------|
| 5/2 | 油川城跡自然観察会下見    | 奥崎・平川   |
| 5/7 | センター主催新緑トレッキング | 須々田・芳賀  |
| 5/7 | ATV梵珠山取材対応     | 木村      |